

えがおの会通信

令和7年5月1日発行

えがおの会（渋川地区地域助け合い活動推進協議体） について

えがおの会は、**渋川市が設置主体**となり、**だれもが住みやすい地域にするため**に、自分の住む地域の生活や地域の支え合いの充実に向けて「こうなったらいいな」を話し合っています。

現在、「**認知症の人にやさしい地域づくり**」を進めるために**認知症サポーター養成講座**の開催を推進しており、地域の皆さんに「認知症について少しでも知ってもらいたい」という思いから、今回の発行に至りました。

認知症サポーター養成講座って？

認知症への正しい理解を深め、認知症の方やその家族を見守り、応援するサポーターを養成するための講座です。『認知症』について楽しく学べます。申し込みは、おおむね10名以上の団体から可能です。

〈問い合わせ先〉 中央地域包括支援センター：22-2179

●受講者の声

＼身近な方への接し方／
身近にいる認知症の方への対応の仕方が分かり参考になりました。

＼気軽に受講／
認知症の人への接し方など楽しく学ぶことができました。

＼正しい知識／
認知症に対する正しい知識を学ぶことができて良かったです。



- ・やってみよう！認知症チェック
- ・相談できるところって？

→裏面にあります

発行 渋川地区地域助け合い活動推進協議体「渋川えがおの会」

（事務局）渋川市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎25-0500

認知症とは？

病気などにより脳細胞が減少したり、脳の働きが悪くなることで認知機能が低下し、日常生活に支障が生じている状態です。

「認知症」と「加齢による物忘れ」の違い

チェックしてみよう！

認知症による物忘れ	加齢による物忘れ
☐ 体験の全てを忘れる 例えば… ご飯を食べたこと自体を忘れてしまう。	☐ 体験の一部を忘れる 例えば… 食べたメニューを忘れることがある。
☐ 物忘れの自覚がない (初期には自覚がある場合もある)	☐ 物忘れの自覚がある
☐ ヒントがあっても思い出せない	☐ ヒントがあると思い出せる
☐ 今いる場所や時間が分からなくなる	☐ 今いる場所や時間が分かる

相談できるところって？

地域包括支援センター

高齢者の皆さんが「**住み慣れた地域**」で「**安心した生活**」を続けられるように支援をしている**公的な相談機関**です。

〈問い合わせ先〉
中央地域包括支援センター
22-2179

民生委員・児童委員
相談を受けて
各機関につなげます。

かかりつけ医

早めの相談が
大切です。

認知症の人と家族 のための電話相談

認知症介護経験者が悩みなどの
相談に応じています。

〈相談日〉月曜日から金曜日(祝日、年末年始を除く)
〈時間〉10時から15時
〈連絡先〉027-289-2740

認知症オレンジカフェ

認知症の方やその家族、介護の
ことで悩んでいる方など、**だれもが
参加できる居場所**として、**毎月
カフェ**を開催しています。専門職
に相談することもできます。

〈問い合わせ先〉

渋川市社会福祉協議会
子持支所 ☎24-6611